

次世代の動物実験代替法の実用に向けた基礎と活用事例 —MPS入門、全身毒性（NGRA）、皮膚感作性—

■ 講習会概要

近年、動物実験代替法の分野では、MPS（Microphysiological Systems：生体模倣システム）の開発やNGRA（Next Generation Risk Assessment：動物を用いない次世代安全性評価方法）の考え方が主流になりつつあります。一方で、従来から取り組まれている皮膚感作性試験の代替法についても毎年のようにアップデートされています。今回はこれら3つのテーマの分野の基礎的、入門的な内容と、過去の動物実験代替法学会で実用化を意識した内容でポスター発表された演題をピックアップし、基礎と活用事例の両側面から構成する講習会にしました。さらに、講演だけでなく講師の先生方と直接ディスカッションができるオープンセッションの場も設けております。11月の本大会に向けて、この講習会は、代替法の分野でもキーとなるMPS、NGRA、皮膚感作性に関して、より理解を高める機会でもありますので、皆様からの多くの参加をお待ちしております。

■ 開催情報

- ・日時：2026年7月29日（水）9:00-15:40（入場開始8:40）
- ・会場：WEB（Zoom）開催
※Zoomアカウントは参加申し込み後、7月27日（月）配信予定です。
- ・参加費用：会員2,000円/非会員4000円（税込み）
※動物実験代替法学会賛助会員の会社にご所属の方は会員価格となります。
- ・申し込み期間：2026年6月15日（月）～7月24日（金）
- ・申し込み：以下のPayventのサイト（参加登録かQRコード）から参加申し込みをお願いします。
※お支払いはクレジットカード決済のみとなります。
[参加登録](#)
- ・定員：200名 ※定員になり次第締め切ります。



お支払い方法等でご不明の方は、下記までお問合せ下さい。
日本動物実験代替法学会 企画委員会
Email: jsaaekikaku001@gmail.com

■プログラム

座長: 坂口 齊 (日本動物実験代替法学会企画委員会 担当理事)

8:40 入場開始

9:00 開催挨拶 本セミナーの狙い

清水 健司 (日本動物実験代替法学会 企画委員会 委員長)

9:05 MPSを代替法として社会実装するための国内外の取り組み

石田 誠一 先生 (崇城大学)

9:45 MPSプラットフォームの開発とその実用化事例

木村 啓志 先生 (東海大学)

10:25 ヒト骨格筋MPS を用いた食品成分の機能評価: ケルセチンの遅筋誘導作用

清水 一憲 先生 (名古屋大学)

10:45 休憩 (10分)

10:55 午前の先生方との質疑応答オープンセッション (ブレイクアウトルーム)

石田先生、木村先生、清水先生

11:25-13:00 休憩

13:00 PBPKとinternal TTCの基礎知識

: 実例の前におさえておきたいNGRAの要素技術

額賀 巧 先生 (株式会社資生堂)

13:40 オープンソースツールを用いたNGRAのケーススタディ

西條 拓 先生 (ポーラ化成工業株式会社)

14:00 休憩 (10分)

14:10 実験動物を用いない皮膚感作性評価~国内外の現在地と動向~

岩井 紀貴 先生 (日本メナード化粧品株式会社)

14:40 複数のDASS とRAx を活用したNGRA 戦略のケーススタディ

: 化粧品原料評価における検証

頼 怡廷 先生 (花王株式会社)

15:00 休憩 (10分)

15:10 午後の先生方との質疑応答オープンセッション (ブレイクアウトルーム)

額賀先生、西條先生、岩井先生、頼先生

15:40 終了